

## 審査を終えての会派別意見



る。新型コロナウイルスで得た非接触型社会への対応など各種課題に対し、積極果敢な取り組みを願う。また老朽化する市有施設については、全庁的に公共施設マネジメントを展開されたい。

進事業等、市民の明るい未来を築き上げるための予算編成ができたことを評価する。

災害に強いまちづくりを推進し、市民の安全安心を守り、子どもの未来育むための継続的な投資を求める。

億1271万円もの徴収減の中、これだけの予算規模を立てられたことは非常に評価する。大住こども園の新設計画、4年度初旬開設に向けた南部コミュニティ機能確保に向けたの施設もようやく始動するが、新型コロナウイルスにおいて変異株も現れていることから、空調等機能装置設置の重要性も考慮され、こどもの安全性を見据えた中で十分な策を。

国保税や下水道料金の引上げ、また75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担2割化など負担増ばかりである。そうではなく、市民への負担軽減を求める。

一方、市の財政負担が不透明である北陸新幹線延伸計画を推進している。巨額の資金を要する無駄な大型公共事業よりも、市民に身近な公共バスの充実や歩道整備など、生活に密着した暮らし最優先の市政を求める。

ないことは問題だ。また市民が参画する形で目標数値を明確化して市政運営すべきだ。コロナ禍で不登校、引きこもりが増加している。2020年12月末で市内中学校の不登校生

カーボンシティ宣言では、2030年の目標および、真剣に取り組む姿勢を市長が表明すべき。

電子媒体を活用した情報発信は、活用とアクセス数増加の工夫を。

コロナ禍の中央公民館の避難所運営訓練を早急に実施するとともに、早く市内全てに自主防災組織を配置すべき。

今後、さらに少子化対策、出生率向上、人口維持に取組み、子育て世帯と若者世代に対する支援の拡充を求める。